

シリーズ 103 ふるさと 笠間に生きる人たち

かさま 市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体などを紹介します。掲載を希望する団体は市民活動課へご連絡ください。



会員のみなさん



代表者(高松 幹夫さん)より

この事業は、平成24年春に笠間市教育委員会および笠間菊まつり連絡協議会のご支援により、笠間市の観光振興と俳句文化に触れてもらうことを目的に始まりました。現在、俳句ポストの設置場所は、笠間稲荷神社、笠間工芸の丘、笠間駅前観光案内所、稲田禅房西念寺、愛宕山のフォレストハウスとスカイロッジの6か所です。

設置した俳句ポストには、それぞれに投句*用紙を備え付け、どなたでもいつでも自由に無料で投句していただけます。なお、投句用紙は持ち帰ることもできますので、後日、郵送による投句も受け付けています。また、市内にある俳句会の皆さんには、常日頃、俳句ポストの見回り、投句用紙の補充、投句作品の回収等にご協力いただいております。感謝しています。

*投句…俳句を投稿すること

笠間から 俳句文化の発信を

昨年は、小中学生から一般の方まで3,151句の投句がありました。特に、小中学生からの投句数が増えていることを心強く感じています。これは、それぞれの学校で、先生方が、熱心に指導されていることによるものであり、この場を借りて心からお礼を申し上げます。

投句された作品は、俳人協会副会長の今瀬剛一いませ こういちさんに審査をお願いし、小学生、中学生、一般の3部門ごとに入選作品を決定し、表彰しています。さらに、入選作品集を作成、配布するとともに市内3か所の公民館等に、入選作品を掲示し、周知を図っています。

年配の方はもちろんですが、特に若い人たちに俳句へ親しんでもらいたいとの思いで、この事業を推進していきたいと思っています。

笠間俳句ポスト大賞 事業運営委員会

代表者／たかまつ高松 つねお幹夫(笠間)
設立／平成24年
会 員／38人



『俳句ポスト』の広報
笠間市文化協会(ほほえみ)



運営委員会の風景



第1回笠間俳句ポスト大賞
受賞のお二人



第1回笠間俳句ポスト
入賞作品の展示